



2022年5月10日

各 位

会社名 オーベクス株式会社  
代表者 代表取締役社長 栗原 則義  
(コード：3583 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理部長 塚越 孝弘  
(TEL：03-6701-3200)

### 新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2022年5月10日の取締役会において、第138期（2023年3月期）を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定・決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

2022年3月期の連結業績は、コロナ禍の影響を受けながらも、売上高5,486百万円（前期比15.5%増）、営業利益706百万円（前期比166.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益536百万円（前期比366.7%増）となりました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による受注減少のため、2020年8月に前中期経営計画の定量目標を取り下げましたが、諸施策を確実に実行することで最終年度の定量目標「連結売上高6,100百万円、連結営業利益650百万円」に対して、営業利益は当初計画を上回ることができました。

事業を取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮問題などの地政学的リスクの高まり、長引くコロナ禍の影響、国内では少子高齢化やSDGsへの意識の高まりによる消費行動の変化など、大きく変化しております。このような経営環境に対応するため、新中期経営計画（オーベクスビジョン2024）では、「新市場（スタンダード市場）において持続的成長と企業価値向上を具現化する」を基本方針とし、「Change + Update チェンジ プラス アップデート」をスローガンに掲げ、サステナブルな経営基盤の確立と社会に支持されるカンパニーの実現に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

当中期経営計画の内容の概要につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

# 第8次中期経営計画

## オーベクスビジョン 2024



証券コード：3583

オーベクス株式会社

# 経営理念

真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、  
豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。

## 人と社会に正しい貢献を。

当社の創業者である渋沢栄一は、著書である『論語と算盤』の中で「富を成す根源は何かといえば、仁義道德、正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができぬ。」と述べています。  
その理念を受け継ぐ当社は、企業の存在価値を「どんなに技術が進歩し、さらに高度な時代になろうとも、人と社会に対する正しい貢献の在り方」と考えています。

## いつの時代も、可能性をあきらめず、まっすぐに。

当社は、明治・大正・昭和・平成と社歴を積み重ねてきました。その間、戦争、度重なる恐慌、大震災、戦火による全工場の焼失、中折帽子の斜陽化、石油危機、バブル経済崩壊など幾多の試練に直面してきましたが、先人たちは、誠実さと不屈の精神で活路を切り開いてきました。この誠実さと不屈の精神は、私たちの誇りであり、かけがえのない財産として受け継がれています。

## 「より役立つもの、より優れたもの」を。

当社は、豊かな社会づくりに貢献するため、「より役立つもの、より優れたもの」を常に追求しています。これらを実現するためには、アイデアを生み出す「企画開発」、それを実用化する「技術開発」、安定した製品を生み出す「生産技術」、より品質を高める「品質管理」のどれひとつをとっても欠かせないものであると考えています。「より役立つもの、より優れたもの」を生み出すために長年受け継がれてきた誠実さと不屈の精神で日々モノづくりに取り組んでいます。

## モノづくりを通じて拡がる未来へ。

当社の社名であるAuBEX（オーベクス）は、黎明、曙を意味するフランス語の“AUBE”と可能性、未来の意味合いを持つ“X”とからなる合成語であり、「新しい可能性への曙」「拡がる未来」を意味しています。  
豊かな社会づくりに貢献する企業を目指し、これからも誠実さと不屈の精神をもって、モノづくりを通じて「人に想いを伝える。人の想いに応える。」企業として、その未来を拡げていきます。

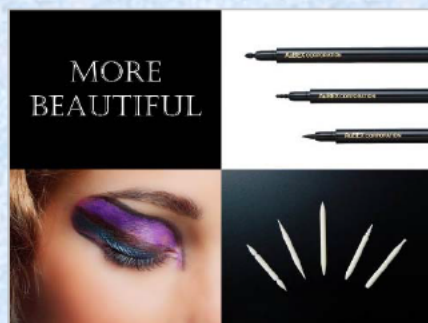
# 当社グループの事業

## テクノ製品事業

サインペン先、マーキング用ペン先などの筆記具関連、アイライナー用ペン先、ネイルケア用ペン先などのコスメチック関連を主力製品として、その他スタイラス用ペン先などのPC周辺関連をはじめ、芳香剤用芯などを取り扱っております。



ステーショナリー



コスメチック



スタイラスペン



医療機器

## メディカル製品事業

自社開発の流量制御チューブを採用した薬液注入器や安全性と利便性を追求した親水性ガイドワイヤーを主力製品として、その他に医療用部材を取り扱っております。



人に想いを伝える、人の想いに応える モノづくり企業

**AuBEX GROUP**

# 第7次中期経営計画レビュー

---

# 第7次中期経営計画レビュー（連結）

第7次中期経営計画

最終年度結果（137期）

		135期実績 2020年3月期	136期実績 2021年3月期	137期計画 2022年3月期	137期実績 2022年3月期	対計画増減
売上高	百万円	5,140	4,751	6,100	5,486	△614
営業利益	百万円	218	265	650	706	+56
営業利益率	%	4.2	5.5	10.7	12.9	+2.2
経常利益	百万円	202	331	620	727	+107
ROE	%	3.0	2.4	8.0	10.5	+2.5

※新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による受注減少のため、第7次中期経営計画の最終年度の定量目標「連結売上高61億円、連結営業利益6億5千万円」の達成が困難となったため、2020年8月に第7次中期経営計画の定量目標を取り下げております。

# 第7次中期経営計画レビュー

第7次中期経営計画においては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を大きく受けたものの、施策の見直しによる高付加価値製品の販売拡大および販売管理費の抑制等により、最終年度となる第137期（2021年度）は、売上は計画未達ながら、収益性は大幅に改善し、営業利益は当初計画6.5億円を上回る7億円となりました。

## テクノ事業

高付加価値製品の販売強化  
生産効率化によるコスト削減  
中国子会社の事業転換  
（生産拠点から販売拠点へシフト）

## メディカル事業

無痛分娩分野への積極展開  
コンテンツマーケティングの活用  
IE手法の活用によるコスト削減

## 全社

働き方改革の推進  
IT活用による業務の効率化

※新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による受注減少のため、第7次中期経営計画の最終年度の定量目標「連結売上高61億円、連結営業利益6億5千万円」の達成が困難となったため、2020年8月に第7次中期経営計画の定量目標を取り下げております。

# 第7次中期経営計画レビュー（セグメント別）

第7次中期経営計画の最終年度（137期）実績については、134期の実績に対して、テクノ製品事業では、売上高は172百万円増、営業利益は242百万円増、メディカル製品事業では、売上高は21百万円増、営業利益は89百万円増、全体では、売上高は192百万円増、営業利益は271百万円増となりました。

## 外部顧客への売上高（百万円）

セグメント	第6次中計 134期実績 (2018年度)	第7次中計 137期実績 (2021年度)	増減
テクノ製品	3,900	<b>4,072</b>	+172
メディカル製品	1,390	<b>1,411</b>	+21
その他 (不動産)	3	<b>1</b>	△2
管理部門費用	—	—	—
合計	5,294	<b>5,486</b>	+192

## 営業利益（百万円）

セグメント	第6次中計 134期実績 (2018年度)	第7次中計 137期実績 (2021年度)	増減
テクノ製品	644	<b>886</b>	+242
メディカル製品	57	<b>146</b>	+89
その他 (不動産)	10	<b>△19</b>	△29
管理部門費用	△276	<b>△306</b>	△30
合計	435	<b>706</b>	+271





人に想いを伝える、人の想いに応える モノづくり企業

**AuBEX GROUP**

# 第8次中期経営計画

---

2022年度～2024年度

# 第8次中期経営計画

人に想いを伝える、人の想いに応える モノづくり企業

AuBEX GROUP

## オーベクスビジョン 2024

### 基本方針

新市場（スタンダード市場）において  
持続的成長と企業価値向上を具現化する

### スローガン

「 Change + Update “チェンジ プラス アップデート” 」

最終年度		定量目標（連結）		3ヶ年合計	
売上高	62億円	営業利益	8.3億円	設備投資	10億円

# 当社グループを取巻く環境

地政学的 リスク	<ul style="list-style-type: none"><li>・ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮などの地政学的リスクが世界の経済活動に大きな影響を及ぼしている。</li></ul>
新型コロナ	<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染の収束が見通せず、経済活動の停滞が長引く恐れがある。</li></ul>
労働人口	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界人口が増加していく中、日本では少子高齢化により、今後、ますます労働力の確保が難しくなる。</li></ul>
消費動向	<ul style="list-style-type: none"><li>・消費者の購買行動が変化し、環境に配慮した事業活動や製品開発を行う企業が支持されていく。</li><li>・円安や原油高により、更なる物価の上昇が懸念される。</li></ul>
SDGs	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会全体のSDGsへの意識の高まりとステークホルダーからのESG経営への要請により「環境」「社会」「ガバナンス」への取組みは不可避となっている。</li></ul>

# グループ基本戦略

①

既存事業強化による事業拡大と  
持続的成長に向けた設備投資

②

グループ技術を結集した新製品開発および新分野への展開

③

スタンダード市場の上場維持基準適合への取組み推進

④

多様で柔軟な働き方と環境負荷低減活動の推進



サステナブルな経営基盤の確立と  
社会に支持されるカンパニーを目指す

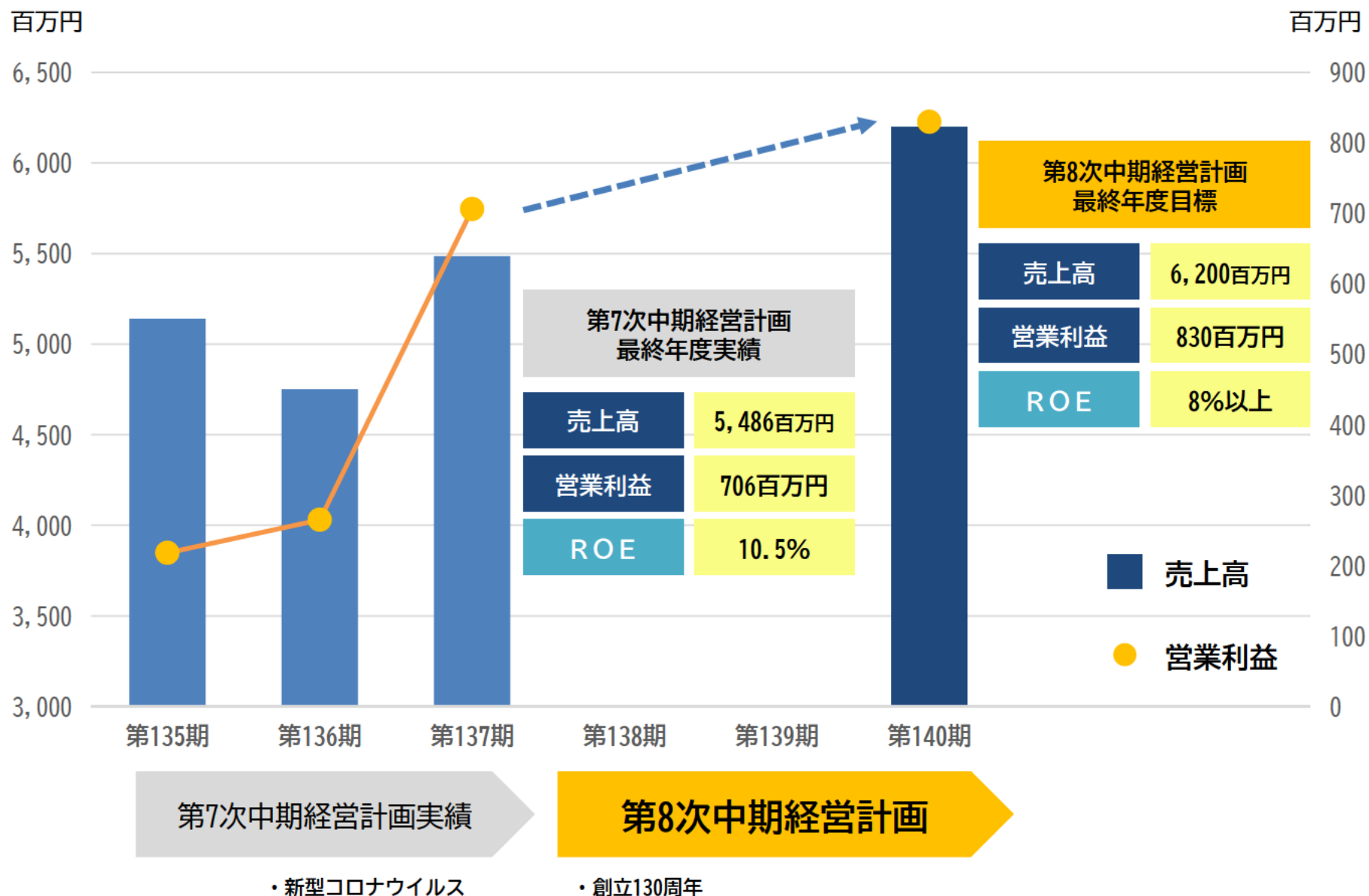
# 第8次中期経営計画定量目標（連結）

第7次中期経営計画  
最終年度実績（137期）

第8次中期経営計画  
最終年度目標（140期）

			対137期増減	対137期比
売上高 (百万円)	5,486	6,200	+714	+13.0%
営業利益 (百万円)	706	830	+124	+17.6%
営業利益率 (%)	12.9	13.4	+0.5	
経常利益 (百万円)	727	810	+83	+11.4%

# 第8次中期経営計画定量目標（連結）



# 第8次中期経営計画（セグメント別）

第8次中期経営計画の最終年度（140期）目標については、137期の実績に対して、テクノ製品事業では、売上高は428百万円増、営業利益は114百万円増、メディカル製品事業では、売上高は289百万円増、営業利益は34百万円増、全体では、売上高は714百万円増、営業利益は124百万円増を計画しています。

## 外部顧客への売上高（百万円）

セグメント	第7次中計 137期実績 (2021年度)	第8次中計 140期目標 (2024年度)	増減
テクノ製品	4,072	4,500	+428
メディカル製品	1,411	1,700	+289
その他 (不動産)	1	0	△1
管理部門費用	—	—	—
合計	5,486	6,200	+714

## 営業利益（百万円）

セグメント	第7次中計 137期実績 (2021年度)	第8次中計 140期目標 (2024年度)	増減
テクノ製品	886	1,000	+114
メディカル製品	146	180	+34
その他 (不動産)	△19	0	+19
管理部門費用	△306	△350	△44
合計	706	830	+124

# テクノセグメント

## 3年後の定量目標

第137期（2022年3月期）比

売上高

45 億円

+4.3億円  
+10.5%

営業利益

10 億円

+1.1億円  
+12.9%

重点施策①

サステナブルな商品の提案と海外を中心とした新たな市場の創出

重点施策②

新たな設備投資によるキャパシティアップと製品ラインナップの拡大

重点施策③

高機能・高品質・高付加価値商品の開発による差別化と  
環境負荷低減型製品の開発推進

重点施策④

グループコア技術を応用した第3の新事業へのアプローチ



# メディカルセグメント

## 3年後の定量目標

第137期（2022年3月期）比

売上高

17 億円

+2.9億円  
+20.5%

営業利益

1.8 億円

+0.3億円  
+22.4%

重点施策①

国内販売体制の強化とグローバル市場での販売拡大

重点施策②

先進的な生産技術の開発による効率的な生産体制の確立

重点施策③

グループ資源の活用による既存および新規分野での  
スピーディーな新製品開発

重点施策④

「出産から終末医療」までQOL向上を目指した製品の提供による社会貢献

# 配 当

## 配当方針

利益配分に関しましては、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つと考えており、将来に向けた研究・開発、設備投資等を行うための内部留保の充実を図りつつ、中長期的視野に立って収益に対応した安定配当を行うことを基本方針としております。

## 配当実績・予想

		134期 2019年3月期	135期 2020年3月期	136期 2021年3月期	137期 2022年3月期	138期 (予想) 2023年3月期
1株当たり 当期純利益 (連結)	円	115.17	50.89	41.60	194.04	187.90
1株当たり 配当額	円	15	15	15	25 記念配当 10円含む	20

# サステナビリティへの取組

当社の創業者である渋沢栄一翁の経営哲学「道德経済合一説」（仁義道德と生産殖利とは元来ともに進むべきもの）は、持続可能な社会を目指すものであります。その精神を受継ぐ当社は、「真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。」を経営理念に掲げ、「オーバクスグループ行動規範」を定めるとともにリスクマネジメント方針をはじめとする各方針を策定しております。環境問題、社会的課題への対応を経営課題の重要事項のひとつと位置付け、ESG経営を推進することで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## 環境 Environment

大気汚染対策 廃棄物対策  
環境に配慮した製品開発



## 社会 Social

働き甲斐のある職場環境 人財育成  
人権の尊重 地域社会への貢献



## ガバナンス Governance

コンプライアンス（法令と社会規範の遵守）  
積極的な情報開示 リスク管理





人に想いを伝える、人の想いに応える モノづくり企業

**AuBEX GROUP**

**【注意事項】**

本資料の計画は、現時点において当社が把握可能な情報から判断した予想値となります。  
実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

**AuBEX GROUP**

**オーベクス株式会社**